

## 人権の尊重

当社グループは、人権を尊重し、その責任を果たしていく上での指針として、2024年5月に「石塚硝子グループ人権方針」を制定しました。国内外に展開する事業活動のなかで影響を受けるすべての人の人権が守られなければならないことをよく理解し、その責務を果たしていくように努めます。従業員に対しては社内報で人権方針を周知しました。今後、本方針がすべての事業活動に組み込まれ、効果的に実施されるよう、適切な教育・研修を行ってまいります。

WEB 石塚硝子グループ人権方針  
[https://www.ishizuka.co.jp/public/wp-content/uploads/2024/05/jinji\\_20240531.pdf](https://www.ishizuka.co.jp/public/wp-content/uploads/2024/05/jinji_20240531.pdf)

## 健康経営

### 健康増進の取り組み

当社は、従業員と家族の健康維持・増進のため、石塚硝子健康保険組合が中心となって、さまざまな疾病予防事業を展開しています。2024年度は、会社定期健康診断時に「腹部エコー検査」と「歯科健診」を実施し、健診の充実を図りました。また、会社と健保が連携し、有所見者に「2次検査の受診勧奨」を行い、早期の精密検査受診につなげました。さらに健保ではレセプトを用いた受診履歴の確認に基づき、未受診の方への再々通知を行い、重症化の予防活動に注力しました。

2024年12月、厚生労働省より、健康増進のために必要な事業の実施状況が評価され、「後期高齢者支援金の減算対象の組合 上位1部」に選ばれ、国より補助金が支給されることになりました。補助金は従業員および従業員の家族の健康増進のため、有効に活用してまいります。

### 特定検診および特定保健指導実施率 (%)

	目標値	2022年度	2023年度	2024年度
特定健診受診率	90%以上	98.8	97.6	98.5
特定保健指導実施率	55%以上	92.1	87.8	91.6

※2023年度は鳴海製陶健康保険組合と合併後の数値

### メンタルヘルスの取り組み

当社は年1回ストレスチェックを実施しています。ストレスチェックの結果は職場集団分析を行い、懸念がある部門には継続的に注意喚起を行っています。分析結果は良化傾向にあり、懸念される部門はごくわずかです。

また、当社従業員が利用できる外部機関と連携した「こころの健康相談窓口」を設置し、専門家によるカウンセリングを電話または面接で相談できる環境を整備しています。鳴海製陶(株)でも同様な取り組みを始めています。

### グループ会社の取り組み

#### 鳴海製陶(株)

2024年度は、定期健康診断時に腹部エコー検査を導入し、健診内容の充実を図りました。その他、従業員の健康維持・増進を図る各種活動に取り組み、2023年度に続き、健康経営優良法人(中小規模法人部門)の認定を受けました。また、愛知県健康経営推進企業に登録しており、従業員の健康維持のため、運動機会の促進や感染症予防、従業員および配偶者の受診勧奨など、継続的な取り組みを行っています。

#### 石塚王子ペーパーパッケージング(株)

2021年4月より従業員の福利厚生の一環として、冷凍食品の社食サービスを導入しました。導入前は、交替勤務の夜勤者がインスタント食品を食べていることが多く、栄養の偏りに懸念がありました。社食では栄養バランスを考えた30品種の冷凍食品を用意し、従業員に大変好評です。従業員の健康を考え、今後さらにメニューを充実させていきます。

#### 日本機械金型(株)

2024年度は、健診および検診に関する事項を中心に充実を図りました。メンタルヘルスの取り組みでは、社長宛に直接投稿できる無記名方式の投書箱を設置し、従業員の要望を吸い上げる仕組みをつくりました。これらの取り組みにより、健康経営優良法人(中小規模法人部門)2024に認定されました。

#### 日本パリソン(株)

毎月の安全衛生委員会で、健康維持に関わる豆知識をまとめた「健康トピック」を従業員に配布し、健康意識の向上に取り組んでいます。

## 労働安全衛生

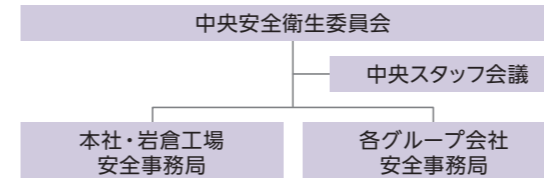
### 基本的な考え方

当社グループは、すべての従業員が安全で健康的に働けるよう労働災害のない職場環境づくりに努めています。ISO45001に則り、安全基本行動の徹底はもちろんのこと、リスクアセスメントを行うことで潜在的なリスクを洗い出し、リスクを低減して労働災害の未然防止に取り組んでいます。

### 安全衛生管理体制

当社グループは、執行役員が委員長を務める中央安全衛生委員会の下、各工場およびグループ会社が主体的に活動を展開しています。中央安全衛生委員会は各工場およびグループ会社の安全責任者が参加し、年2回開催しています。委員会では半期ごとの災害状況の確認・分析、各工場・グループ会社の取り組みを確認しています。各工場・グループ会社の取り組みは、安全事務局で構成される中央スタッフ会議(年2回開催)でとりまとめ、中央安全衛生委員会に報告しています。

### 安全衛生管理体制



### 労働災害防止の取り組み

職場の安全化に向け、リスクアセスメントに力を入れ、危険源の抽出を的確にする評価シートの改訂やリスク評価の適正化教育などを実施し、リスクアセスメントの的確な運用による職場のリスク低減に取り組んでいます。その一例として、一部の職場では、火災報知装置に視覚性向上機能を加えて火災時の早期対応ができる状態にしています。岩倉工場では、協力会社と安全衛生委員会の相互交流や協働による安全パトロールを行うなど、職域を越えた活動を継続しておこない、危険個所の抽出と改善により事故防止に努めています。

### 労働災害発生状況

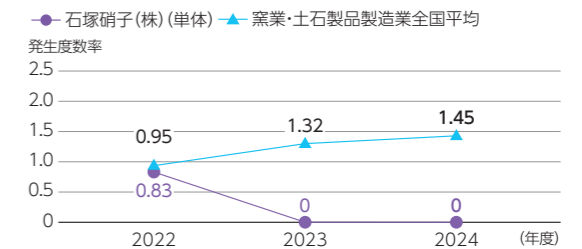
2024年度は当社および国内グループ会社で17件の労働災害が発生し、2023年度より8件の増加となりました。発生災害については、各発生事業所の安全衛生委員会で原因究明と再発防止、中央安全衛生委員会や中央スタッフ会議を通じた災害

傾向や原因分析などの情報交換を行いながら、国内グループ全体で連携して労働災害撲滅を目指して取り組んでいます。

### 労働災害発生件数 (件)

	2022年度		2023年度		2024年度	
	休業災害	不休業災害	休業災害	不休業災害	休業災害	不休業災害
単体	1	3	0	0	0	3
国内グループ	2	9	3	6	7	7
合計	3	12	3	6	7	10

### 休業災害発生度数率



### 安全教育

#### 防災訓練

岩倉工場では、8月下旬に実施していた総合防災訓練を、日没時間が早まる11月下旬に実施しました。薄暗い夕暮れ時の状況での訓練体験は、防災への新たな気づきにつながりました。

#### フォークリフト作業安全運転講習

当社では、年1回のフォークリフト全作業者を対象とした社内運転免許証更新は、更新時期前に開催する安全講習の受講を条件にしています。講習会ではフォークリフト業者の講師による、安全意識の醸成を行っています。

### グループ会社の取り組み

#### 石塚王子ペーパーパッケージング(株)

安全パトロールからの意見を受けて、出荷口手洗い場付近やFシーラー壁際など、リフトの通行状況が確認しづらい場所に確認用ミラーを設置しました。また、ドライブレコーダーを活用した物損事故事前防止活動を開始しました。月1回、ドライブレコーダーの接触確認を実施し、リフト運転者に注意喚起を促しています。

#### 鳴海製陶(株)

熱中症対策として、夏場に高温となる本社の作業場にWBGT測定機\*を設置しました。またフォークリフトに進入禁止区域をライトで知らせるLEDライトラインを設置して、注意喚起を行っています。

\* WBGT測定器：気温、湿度、ふく射熱を測定し、熱中症予防に使用する装置